

自昭和十二年九月一日  
至昭和十二年九月三十日

# 陣中日誌

第百一師團通信隊

0003



陣中日誌

第百師團通信隊

陸軍

昭和十二年	第一師團第六動員一號歩三ノ丙下令
九月一日	動員第一日ハ九月三日トス
動員下令	本動員ニ於ケル編成要員タルヘキ將校在士官下士官及兵若干(計三十一名)ハ八月二十五日ヨリ臨時召集ニ於テヨリ三十日迄習志野東廠舎ニ於テ
東京	戦力増進ノ目的ヲ以テ訓練ヲ實施シ爾後下士官兵ハ引續キ動員担任部隊タル歩兵第三聯隊内ニ在リテ動員ニ至リタリ
九月二日	通信隊ノ編成要員タルヘキ將校五名(隊長歩兵少佐坂本嘉四郎小隊長歩兵少尉黒川太郎)同水島勇次同牧野英ニ同工兵少尉中西金吾)ハ第一師團留守部ノ計画ニ
晴	
東京	

0004



〇〇要員通信教育豫定表

陸軍歩兵學校

備考	九月三日		九月二日		時/區分
	午前八時三十分教育開始午後四時教育終了トス	<p>戰場通信ノ参考</p> <p>一各個分隊教練 五〇〇</p> <p>二運用ニ関スル事項</p> <p>三暗號 佐々木少佐</p> <p>大橋中尉</p>	<p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p>	<p>器械取扱法 五〇〇</p> <p>五号機</p> <p>三号乙機 佐々木少佐</p> <p>三号丙機 大橋中尉</p>	<p>同上</p> <p>九式電話機</p> <p>九式交換機</p> <p>各種回光機</p> <p>市川中尉</p>

0006



	以下將校五名東京ニ飯還ス
	三本日現在負
	少佐一、中少尉四、准尉三、軍曹三、伍長九、上等兵一〇
	輜重兵下士官一、衛生下士官一、計三一
九月四日	一、應召負將校以下九名
動負第百	定負外トシテ將校一名増加セシ野戰重砲兵第七聯隊附
晴	陸軍砲兵中尉山口與三郎到着ス
東京	三、本日ヨリ通信隊編成要員トシテ將校以下八宿營地
	東京市赤坂區青山南町五丁目附近一帶ニ宿營ス
	三、通信隊長及將校宿舍左ノ如シ
	青山南町五丁目四十五番地 中川健藏
	四、本日増負
	中尉一、伍長一、輜重兵二三、等兵二、輜重特務兵五
	計九

陸軍

0007

21~5





九月十日	九月九日	九月八日
動員第六日	動員第七日	動員第六日
二、通信隊定員外將校八許可セラレサルコト、ナリ、歩兵	二、本日増員	二、本日増員
一、應召員兵十一名	一、應召員兵三十名	一、應召員兵三十五名
馬 匹 四六	馬 匹 四六	馬 匹 一五
將校以下二五八	將校以下二三八	將校以下二三八
三、本日現在員	三、本日現在員	三、本日現在員
上等兵一〇 一三 等兵八 輜重特務兵二 衛兵一 計三〇	上等兵一〇 一三 等兵八 輜重特務兵二 衛兵一 計三〇	上等兵一三 一三 等兵一六 輜重特務兵六 計三五
東京	東京	東京

日本標準規格 D-4

0010

陸軍

東	少尉牧野英二ハ步兵第百一聯隊小隊長ニ命課換アリ
本	本日轉出ス
日	
增	三本日増負シ
負	上等兵六、一(三算兵三、輔重特務兵三)
	計一三(應召員二、佐々木一等兵/Aヨリ敵隊)
	四本日減負
	少尉一(牧野少尉轉出)
	五本日現在負
	將校以下二六九
	六編成完結ス
	將校職員表並編成表別表、如シ
	七軍裝検査三閱シ左記、通り命令ス
	坂本部隊日日命令 <small>九月十日 於東京青山</small>
	一、來ル九月十日代々木練兵場ニ於テ、動員担任官軍裝検査

0011

2127

動員第九日	九月十一日	<p>一 午前十時十分より、代々木練兵場ニ於テ 動員担任官各々歩兵第三聯隊留守隊長ノ軍装検査アリ</p>	<p>4. 其他細部ニ関シテハ別ニ示ス</p>	<p>伊東部隊長 閣兵 午前十時三十分</p>	<p>侍從武官 御實視 午前十時三十分</p>	<p>動員担任官 軍装検査 午前十時十分</p>	<p>3. 検査 閣兵及御實視開始時刻</p>	<p>一般ニ軍装ニシテ略綬佩用晝食携行</p>	<p>2. 服装及携行品</p>	<p>午前七時 馬撃場(青山脳病院側)</p>	<p>1. 集合時刻及場所</p>	<p>仍テ左ノ如ク心得ヘシ</p>	<p>從武官ヲ御差遣アラセラル</p>	<p>伊東部隊長 閣兵ヲ行ハレ同日 動員状況實視ノタメ待</p>
-------	-------	--	-------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------	------------------	-------------------------	-------------------	-------------------	---------------------	----------------------------------

別表

第百一師團通信隊將校職員表(昭和十二年九月十日)

小隊長				隊	戰時職務	現	夜種官等	氏名
4(無線)	3	2	1					
同	同	予	同	長	現	步兵少佐		坂本嘉四郎
工兵少尉	同	歩兵少尉	砲兵中尉					山口興三郎
中西金吾	水島勇次	黒川太郎						

210-8

0013

陸軍

別表

第百一師團通信隊編成表 (昭和十三年九月十日)

階級	區分	人員	乘馬	鞍馬
少佐	1	1	1	1
中尉	4	4	4	4
准尉	1	1	1	1
曹長	1	1	1	1
軍曹(伍長)	給養兼炊事係 1 無線通信係(通上) 6 其他(通上) 9	1 6 9		
上等兵	70	70		
一等兵	90	90		

0014

2119

電 工 長	電 重 兵 下 士 官	電 重 兵 下 士 官 等 兵	電 重 兵 特 務 兵	計 手	看 護 長	看 護 兵	取 扱 兵	総 計
一 八 四	一	一	四	一	一	二	五	二 四 六
一	一	三	八	一	一	二	五	二 四 六
五	一	三	三	一	一	二	五	二 四 六
三 六	三 六	三 六	三 六	三 六	三 六	三 六	三 六	三 六

日本標準規格 B-4

0015

第百一師團通信隊編成表 (昭和十二年九月十日現在)

班 輛 車	隊 小 四 第							隊 小 三 第			隊 小 二 第			隊 小 一 第			直轄		本 部		特 校	下 士 官 (分隊長)	兵	計	合 計	
	長	分隊七	分隊六	分隊五	分隊四	分隊三	分隊二	分隊一	分隊二	分隊一	分隊二	分隊一	分隊二	分隊一	分隊二	分隊一	長	主 准	步 准	長 歩 准						
	工少尉 中西金吾							工少尉 水島勇次						長 砲中尉 山口興三郎				長 坂本嘉四郎	宇田川丑松	山下房太郎	坂本嘉四郎					
長 輜 伍	工上	"	"	"	工 伍	步 伍	工 伍	"	"	"	"	"	步 伍	步 伍	步 伍	步 伍	工 伍	工 伍	兵 伍	凡 伍	電 伍	電 伍	電 伍	電 伍		
不二樹浩三郎	丸山 勇	眞島 祐藏	川 辺 保孝	橋 本 六之助	丸 山 清	田 辺 正衛	多 田 信一	櫻 田 薫	黒 川 榮太郎	東 条 五七	大 塚 三郎	島 根 金一	淡 見 勇五郎	萩 原 守雄	湯 浅 賛	高 橋 朝光	鎌 形 賛	森 山 進	淡 見 初男	萩 野 彦平	小 野 七郎	山 岡 鷹夫	山 岡 鷹夫	山 岡 鷹夫		
大行李 二																	電 光 六	電 光 二	電 光 二	電 光 二	電 光 二	電 光 二	電 光 二	電 光 二	電 光 二	
小行李 一																										
32	66							38	38	38	38	12	22													
32	66							38	38	38	38	12	22													

人員總計  
 第一第二第三小隊ハ有線第四隊ハ無線トス  
 二本表各小隊兵中六回光通信兵一六瓦斯兵一三ヲ第四小隊中ニ無線通信兵  
 三六ヲ含ム

二四六

21.10

0016

勳負完結

二、午前十時三十分状況監視ノタメ侍從武官清水大佐

雨

御差遣アラセシ別紙ノ通り優渥ナル御沙汰ヲ賜フ

東京

三、勳負完結ニ方リ勳負管理官タル第一師団長ヨリ別紙

寫ノ通り訓ホアリ

四、勳負完結ニキ九月九日伊東部隊命令ニ基キ爾後伊

東部隊長ノ隷下ニ入ル

仍テ左ノ通り命令ス

坂作命第一号

坂本部隊命令

九月十日午前十一時  
於代々木

一、坂本部隊ニ爾今伊東部隊長ノ隷下ニ入ル

坂本部隊長 坂本サ佐

下達法 口達ス

五、午前十時三十分ヨリ代々木練兵場ニ於テ第百一師

團長ノ閣下ヨリ同時別紙ノ通り訓ホセラル

0017

210 (1)



	六、本日減員 上等兵九 一等兵八 輜重兵二 二等兵一 輜重兵特務兵五 計二三 右八步兵上等兵門脇義司以下二十三名 編成過剩負トレテ歩三留守隊へ轉出
	七、本日現在人員 將校以下 二四六 馬 匹 四六
九月十三日 待命第一日	一、宿營地ニ於テ教育訓練及兵器畧械ノ整理等ヲ 行フ
晴 東京	二、本日現在人員 將校以下 二四六 馬 匹 四六
九月十三日 待命第一日	一、宿營地ニ於テ教育訓練及兵器ノ整理等ヲ行フ 三、午後五時ヨリ第一師團留守司令部ヲ檢テ團隊長

日本標準規格 B-4

0018

別紙

御沙汰書寫

天皇陛下ニ於カセラレテハ第百一師團  
事變地出勤ニツキ特ニ侍從武官ヲ差遣  
ハサレ動員狀況ヲ實視セシメラレ師團長  
以下將兵一同自奮自愛益々威武ヲ宣  
揚シ重責ヲ完ウスル様申傳ヘヨト

210 12

0019

御沙汰  
アラセラル

0020

別紙

訓示

茲ニ光輝アル第百一師團通信隊ノ  
動員完結ヲ告ケ將兵一同ノ志氣  
内ニ滿チ威容外ニ備ハリ戰ハスニテ支那  
軍ヲ吞ムノ慨アルヲ見ルハ動員管理官  
タル本職ノ最モ欣快トスル所ナリ

244 13

0021

諸子宜シク隊長ヲ中心トシテ團結ヲ  
鞏固ニシ戰場ニ臨ミテハ積極進取極度  
ニ攻撃精神ヲ發揮シ以テ暴戾支那  
軍ヲ膺懲シ國是ノ貫徹ヲ期センコト均王公

昭和十二年九月

第一師團長 河村恭輔

0022

別紙

訓示

坂本部隊、編成ニ方リ畏クモ優渥ナル  
聖旨ヲ賜フ誠ニ恐懼感激ノ至リニ  
堪ヘス  
本日茲ニ當部隊、編成完結シ其軍容  
整ヒ意氣軒昂タルヲ認ムルハ本職ノ  
満足スル所ナリ近ク大命ヲ奉シテ暴  
支膺懲ノ征途ニ就カントス軍人ノ本懷  
男子ノ面目之ニ過クルモノナシ諸子ハ復

210 14

0023

渥ナル 聖旨ニ感佩奮起シ宜シク  
聖諭ヲ奉戴シ本職統率ノ下ニ隊長  
ヲ中心トスル團結ヲ愈々鞏固ニシ和衷  
協同各々其上官ノ命令ニ從ヒ一死奉  
公ノ誠ヲ致シ赫々タル武勲ヲ發揚シテ  
上ハ以テ 聖旨ニ對ヘ奉リ下ハ以テ國  
民ノ倚托ニ副ハンコトヲ期スヘシ  
右訓示ス

0024

昭和十二年九月十一日

伊東部隊長  
伊東政喜

212 15

0025



陸軍

曼	会同アリ上海方面作戦参考事項等講話アリ
東京	坂本日現在負
	將校以下 二四六
	馬 匹 四六
九月十四日	一宿營地ニ於テ教育訓練及鉄道輸送準備、梱包等
待命第百	ヲ行フ
晴	三左記日々命令ヲ下ス
東京	坂本部隊日々命令 <small>九月十四日 於東京青山</small>
	一、 豫備役陸軍歩兵上等兵 萩野彦平
	同 浅見初男
	同 湯浅 賛
	任陸軍歩兵伍長 (九月十三日附)
	二、 豫備役陸軍士兵上等兵 川邊 保孝
	任陸軍士兵伍長 (九月十三日附)

0026

218 16



	<p>三、當隊金櫃取扱法別冊ノ通り定ム</p>
	<p>三、本日現在負</p>
	<p>將校以下 二四六</p>
	<p>馬 匹 四六</p>
<p>九月十五日 待命當日</p>	<p>一、宿營地ニ於テ教育訓練及鐵道輸送準備等ヲ行フ 二、通信隊長ハ輸送指揮官トシテ別紙輸送ニ関スル命令ヲ 下ス</p>
<p>東京</p>	<p>三、九月十四日作命甲第一號伊東部隊命令ニ基キ別紙 坂作命第三號命令ヲ下達ス</p>
	<p>四、神戸ノ設營ニ関シ左記命令ヲ下ス 坂本部隊日々命令 九月十五日 於東京青山</p>
	<p>一、陸軍歩兵軍曹 小野七郎 同 上等兵 金子吾平</p>

日本標準規格 B-4

0027

陸軍

(別紙)

輸送ニ関スル命令 九月十五日正午 於品川駅

一 坂本部隊及佐々木部隊、三分二(以下箱村隊ト稱ス)ハ明後十七日輸送計画番号派東第七六号ニ依リ第八九三五列車ヲ以テ品川駅ヲ出發シ神戶方面ニ輸送スル但シ人員神戶港ニ卸スルキ材料卸ス要スル一部人員ヲ欠ク及馬匹ハ小野浜下車トス 予ハ輸送指揮官ヲ命ゼル

二 左記ノ如ク各搭載卸下掛ヲ命ス

人員搭載(卸下)機 歩兵少尉 黒川大郎  
馬匹搭載(卸下)機 砲兵中尉 山口與三郎

材料搭載(卸下)機 工兵少尉 中西金吾

三 各搭載卸下掛ハ左表ニ依リ人員ヲ區署ニ搭載(卸下)

勤務ニ服スル

勤務	坂本部隊		箱村隊		摘要
	人員	馬匹	人員	馬匹	
人員搭載機	一	三	四	一	助手
馬匹搭載機	一	一〇	二	一〇	便裝計
材料搭載機	二	五	三	二	
備考	一 馬積車監視兵ノ勤務ニ関シテハ馬匹搭載機ニ於テ規定スルモノトス				

四 坂本部隊及箱村隊ノ大小行李及乗馬ハ各隊毎二十日午後二時三十分迄品川駅貨物ホムニ集合ニ材料搭載機ノ指示ヲ受テ材料及荷物ヲ積卸シ整理シタル後馬匹ヲ六番ホムニ牽連シ馬匹搭載機ノ指示ヲ受テハ

馬匹積込後馬積車監視ニ服務スル者以外各隊人員各隊長ノ豫メ指示ル所ニ從ヒ東京市現宿營地ニ歸還スル

五 各隊ハ十七日午前四時品川駅前新坂路上ニ集合スル

六 予ハ十七日午前四時品川駅停車場司令部事務室ニ至ル

各隊ハ午前四時命令受領者ヲ品川駅玄関ニ差込スル



陸軍

別紙

坂作命第二号

坂本部隊命令 九月十五日午後七時  
於東京青山

一伊東部隊ハ某方面出勤大命ヲ拜シ九月十六日以後  
征途ニ就ク

二第百一師團通信隊ハ十六日夜宿營地出發宮城ヲ遙  
拜シ午後別紙鉄道輸送計畫表(其八四)ニ基キ鉄  
道輸送ニヨリ先ワ神戶ニ向ヒ前進セントス

三山口中尉黒川中尉中西中尉ハ夫々輸送ニ関スル輸送  
指揮官命令ニ基キ勤務スヘシ

四通信隊ハ出發ノ夕メ十六日午後十時現宿營地事務  
室前道路ニ集合スヘシ

但シ同夜宮城遙拜後ハ第一小隊長ノ引率ヲ以テ  
十七日午前四時迄ニ高川駅前新坂路上ニ集合スヘシ

五予ハ十六日午後十時集合地ニ在リ宮城遙拜後高川

0030

21.19

駅ニ先行ス

通信隊長

坂本少佐

下達法各宿舎長ヲ集メ口達ス



同	同	同	同	右神戶市ニ於ケル設営ノタメ先發ヲ命ス	仍テ小野軍曹ノ引率ヲ以テ九月十日午後九時	十四分品川駅發列車ニヨリ神戶市ニ至リ在神	戶市第三砲台司令部神戶砲兵六尉連絡ノ	上設営ニ任スヘシ	四本日現負	將校以下 二四六	馬 匹 四六	九月十六日 午後三時十分ヨリ同五時十分間ニ品川駅ニ於ケル馬匹 待命第音 及材料ノ搭載ヲ完了ス
---	---	---	---	--------------------	----------------------	----------------------	--------------------	----------	-------	----------	--------	---

陸軍

0032

日ノ20



<p>東京</p>	<p>雨          二九月十五日伊東師作命甲第二蹄三基平別紙坂作余          第三号命令ヲ下達ス          三午後十時宿宮地青山南所出發 青山至目一          赤坂見付一三宮坂一宮城前道ヲ前進 正子宮城前          二於テ 皇居遙拜 皇峯ノ萬歲ヲ祈願セシ後          日比谷一三田一品川道ヲ吊川道ヲ品川駅ニ向テ前          進ス 但シ部隊長ハ宮城遙拜後品川驛ニ先行          輸送指揮官トシテノ業務ヲ從事ス</p>
<p>四本日減負</p> <p>下士官 一 兵五 計六 (小野軍曹以下六名神戶設置)</p> <p>馬匹 一 計一 (過剩馬ニ付返納)</p>	<p>五本日現在負</p> <p>將校以下 二三八</p> <p>馬匹 四五</p>

日本標準規格 11-1

0033

別紙

坂作命第三号

坂本部隊命令 九月十六日午前八時  
於東京青山

一伊東部隊本部ハ九月十六日品川發神戸ニ至ル

ニ水島少尉ハ命令受領者トシテ先行シ十七日午後

六時迄ニ在神戸伊東部隊本部ニ出頭スヘシ

傳令シテ附ス

爾后ノ行動ニ関シテハ伊東部隊長ノ指示ヲ受クニ

細部ニ関シテハ別ニ指示ス

坂本部隊長 坂本少佐

下達法 口達ス

陸軍

0034

21721

陸軍

九月十七日

神戸港三向

汽車輸送

小雨

神戸

一午前五時三十九分吊川駅発派車七六号第八九五号列

車三ヨリ神戸三向に往途に就ク

二午後十一時五分小野駅着

人馬八同駅下車伊東師作命甲第三号ヨリ神戸

市三宿営ス

部隊長宿舍左如シ

神戸市兵庫區東柳原町九番屋敷富田利三郎

材料及其卸下要スル人員之ハ神戸港ニ到ル

三本日伊東部隊長ヨリ別紙ノ訓示アリ

四本日増員

下管一兵五計六(神戸設営小野軍曹以下復斃)

五本日減員

少尉一兵一計二(水島少尉終命受領者トシテ)

神戸ニ先行

0035

2011.09

六本日現在負	將校以下 二四四	馬 匹 四五	九月十八日	内地港灣	出帆(船)	輸送(船)	小雨	輸送(船)	盛岡丸
			一伊東師作命 甲第四號及輸送指揮官八陽中佐	命令ニ基キ午前六時三十分別紙坂作命等	四號命令ヲ下達ス	二午之閉九時ヨリ馬匹及杖料午後一時ヨリ人員	搭載ヲ行ヒ午後三時完了ス	三午後四時三十分盛岡丸ハ神戸埠頭ヲ離レ出帆	征途ニ就ク
									輸送(船)盛岡丸ノ略稱ナラハトス
									四本日現在負
									將校以下 二四四
									馬 匹 四五

日本標準規格 B-4

0036

別紙

訓示

曩ニ各部隊ノ編成完結ニ方リ夫々將兵一般ニ  
對シ訓示シ更ニ團隊長ニ對シ本職ノ希望ヲ  
開陳スルト共ニ參謀長ヲシテ細部ニ関シ指示  
セシメタリト雖今將ニ故國ヲ離レ戰場ニ赴<sub>カ</sub>ント  
スルニ方リ婆心ヲ顧ミス重ネテ若干注意ヲ與  
ヘントス

一 史實ニ徴スルニ戰場ニ於テハ連絡不充分  
ノ爲隣接部隊ノ位置竝其行動等明瞭ナ

21~22

0037

ラサルニ基固シ友軍相撃ノ不祥事ヲ惹起セ  
シムルコト少シトセス殊ニ夜暗ニ於テ然リトス故  
ニ各級幹部ハ絶ヘス上下左右ノ連絡ヲ密  
ニシ時々刻々変化スヘキ状況裡ニ於テモ必ス  
隣接部隊ノ位置竝其行動ヲ明カニシ以テ  
斯カル不祥事件ヲ未然ニ防遏スルニ努ムル  
ヲ要ス又兵等ニシテ疲勞ノ加ハルニ從ヒ動  
モスレハ精神遲鈍シ兵器ノ取扱ニ關スル注  
意ヲ亡心レ時ニ暴發セシメ戰友ニ危害ヲ加

0038

フルコトナシトセス

故ニ各級幹部ハ絶ヘス部下ノ注意ヲ喚  
起スルト共ニ若シ斯ル事件アリタル場合ニ  
於テハ其處置ニ関シ萬遺漏ナキヲ期ス  
ヘシ

ニ 皇軍出征ノ目的ハ暴戾ナル支那軍  
ヲ膺懲シテ其抗戰能力ヲ根底ヨリ芟除  
スルト共ニ支那國民ノ容共抗日意識ヲ一  
掃シテ東亞永遠ノ平和ヲ期スルニ在リ

212 213

0039

之カ爲苟モ抗戰意識ヲ有スル支那軍隊ニ  
對シテハ鐵槌的痛撃ヲ加ヘ速ニ之カ撃ヲ滅  
コ期スルト雖無古辛ノ良民ヲ苦シムルニ忍ビス  
(但シ良民ヲ裝ヒ皇軍ニ危害ヲ加ヘントスル  
モノハ容赦セサルコト必要ナリ克ク辨別ス  
ルヲ要ス)

從テ戰場ニ殘存セル是等良民ノ私有財  
産ハ之ヲ保護セサルヘカラス  
故ニ團下將兵ハ一人タリトモ彼等ノ私有財

0040

産ヲ掠奪スルカ如キ行爲ナキヲ要ス若シ  
斯カル罪惡ヲ犯スモノアル時ハ皇軍ノ  
威信ヲ失墜セシムルト共ニ關東健兒名  
譽ヲ穢スニ至リ斷ニテ許シ得サル所ナリ  
殊ニ上海附近ニハ多數ノ列國民居住シ  
皇軍將兵ノ一舉手一投足ニ深甚ノ注意  
ヲ拂ヒアルヲ以テ此点ニ關シ監督指導ヲ  
望ム

三 軍紀ノ確立ニ関シテハ既ニ團隊長會

同、際訓示セシ所ナルモ既往戰役（事変）  
ノ經驗ニ徴スルニ戰場ニ於テハ動モスレハ  
志氣昂奮ノ餘リ或ハ婦女子ニ戯レ或  
ハ軍人ノ體面ヲ汚スカ如キ行為ヲナスモノ  
無シトセス斯カル行為ハ只ニ人道ニ反スル  
ノミナラス軍紀風紀ノ維持上許スヘカラサ  
ル事ナルヲ以テ一兵ニ至ル迄斯ノ如キ過  
誤ナカラシムル様徹底セシムルヲ要ス  
右訓示ス

0042

昭和十二年九月十七日

於神戸

伊東部隊長

伊東政喜

0043

別紙

坂作命第四號

坂本部隊命令 九月十八日午前六時三十分

一、伊東部隊八本九月十八日神戸港出航某方面ニ向フ

伊東部隊本部八第一輸送船團ヲヨサウ丸ニハ陽部

隊小笠原隊坂本部隊及衛生隊三分ノハ同船團

盛岡丸ニ乗船輸送スル、皆ニシテ盛岡丸略稱ヲ丸

ト定メラル

二、坂本部隊八本九月十八日第一輸送船團盛岡丸ニ乗航

ニ某方面ニ向ハトス

盛岡丸輸送指揮官ハ陽ニ兵中佐トス

三、山口中尉ハ馬匹、中西少尉ハ兵器材料、各搭載係

トス、別ニ示ス人負マシテ神戸第三埠頭ニ於テ搭載

勤務ヲ服スヘシ

陸軍

0044

21/06

細部ニ就テハ輸送副官田中少尉ト連絡スル  
 四、黒川少尉ハ人員ヲ引導シ午前十時迄神戸第  
 三埠頭ニ至リ爾後人員ノ乗船ヲ區署スル  
 五、予八午前十時神戸第三埠頭ニ至ル  
 坂本部隊長 坂本サ佐  
 下達法 口達ス

陸軍

九月十九日 船舶輸送	一 平穩に瀬戸内海ヲ航行シ午後五時十五分関門海峽ヲ通過ス同時オシ丸輸作命第七号ヨリ上海派遣軍司令官ノ隷下ニ入り上海ニ向ヒ前進ヲ命ス
第二日 曇小雨 盛岡丸	二 多海灘ニ入り海面靜穩ニシテ船暈患者ナシ 三 本日現在負
九月二十日 船舶輸送	一 東支那海航行、天氣晴朗ニシテ波靜カズ瀬戸内海ニ於ケルト殆ト同シ船暈患者ナシ 二 本日現在負
晴 第三日	將校以下二四四
盛岡丸	馬 正 四五
九月廿一日 船舶輸送	一 午後四時輸送指揮官命令ニヨリ船内甲板ヲ遙拜式ヲ行ヒ 天皇陛下ノ萬歲ヲ三喝ス

0046

218 27



第四日	三午後九時馬鞍群島(揚子江口東南方約 一哩) 錨也
曇小雨	二投錨次テ同所投錨上海三向ニ暗夜ノ揚子江
盛岡丸	ヲ溯航ス
	三本日現在人員
	將校以下 二四四
	馬 正 四五
九月廿日	二午前之時黃浦江口通過午前八時十分上海大阪
上海上陸	商船会社埠頭ニ到着、午前九時ヲ盛岡丸輸作命
曇	第九号揚陸命令ニ其キ揚陸開始、同時連絡將
上海東端	校ノ着先伊東師作命申第六号及第七号ヲ受領ス
	六部隊長ハ部隊揚陸集結ヲ先任小隊長山口
	中尉ヲ命シ午前十一時上海碼頭發吳淞砲台
	碼頭ヨリ九内伊東部隊本部ニ到リ通信網
	構成ニ関シ協議ノ後午後三時上海碼頭附近ニ散

別紙

坂作命第五号

坂本部隊命令

九月二十日午後四時

一吳淞鎮附近及其南方地區、彼我、態勢、伊東師作命甲第六

号別紙第一ノ如シ、伊東師第一次輸送梯團ハ本二十日吳淞上

海間各棧橋ヨリ上陸シ各上陸兵附近ニ兵力ヲ集結スル旨

ニ坂本部隊直ニ行動ヲ開始シ伊東部隊本部ト其隸下及ヒ

關係部隊間ニ別紙ノ如ク通信網ヲ構成シ通信連絡ニ任ス

ルト共ニ主力ヲ上海東端附近ニ集結セントス

三第一小隊長ハ其小隊ヲ以テ伊東部隊本部ト虬江碼頭及上海

碼頭間、第二小隊長ハ其小隊一部(但シ線ハ小隊全部外六

卷増加ヲ以テ伊東部隊本部ト永安紡織津田部隊本部ト

間、第三小隊長ハ其小隊一部ヲ以テ永安紡織交換所ヲ

砲台碼頭軍司令部及吳淞碼頭間有線通信網構成通信

0048

210 28

連結ニ任シ水龍上等兵以下兵若ハ上海東端伊東部隊本部ニ付自  
等兵以下兵三名ハ永安紡織ニ夫々交換器ヲ設置シ交換勤務  
ニ服スヘシ第三及第二小隊ニ付トクク一ヲ配属ス構成終了後通信  
隊長ノ許ニ復級セシムヘシ

四、第四小隊長ハ其小隊ヲ以テ上海東端伊東部隊本部ト虹江碼頭

佐藤部隊本部、永安紡織津田部隊本部間ニ無線用

信網ヲ構成シ通信連結ニ任スヘシ、但シ永安紡織及虹江碼頭ニ

派遣スル無線分隊多クトシテ一ヲ微塵スルニテ得

五、山下准尉ハ残餘ノ馬車輜ヲ引率シ上海東端伊東部隊本部

附近坂本部隊集結地ニ前進スヘシ

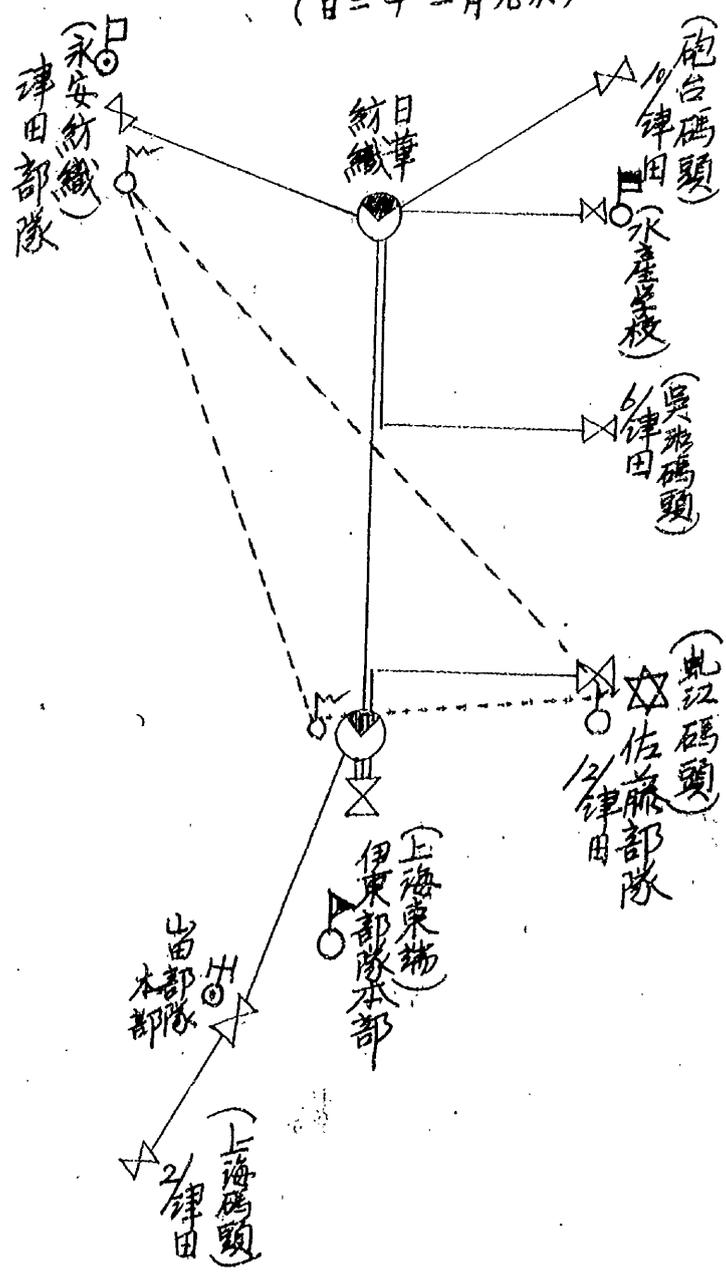
六、本三日夜ニ於ケル給養ハ増加携行セル糧秣ニヨルヘシ

七、予ハ上海東端祐豊紗廠東洋紡績社宅内伊東部隊本部ニ先行ス

坂本部隊長 坂本サ佐

下達該各人ニ口達ス

伊東部隊通信網要圖  
 (於九月二十日)



210 29

0050

陸軍

未ス同時部隊人馬器杖ノ集結ヲ終ラセトス  
 即チ伊東師作命甲第七師ニ基キ別紙要圖ノ通  
 信網構成ノ多ク別紙坂作命第五号ヲ下達ス  
 三午後八時部隊主力ハ上海東端祐豊紗廠東  
 洋紡績ニ集結露宿ス  
 四第三項命令ニ基ク通信網ハ地形不明ト部隊相  
 互ノ混雜ノ交通路ノ梗塞ノ夜暗ノ影響自等アリ  
 午後九時迄ニ大部分ヲ構成セルモ完成ニ至ラス  
 師團ノ意圖ヨリ爾後ノ構成ヲ中止シ明日ニ延  
 期セリ  
 五此夜津田部隊本部ハ牌樓(永安紡織西北方  
 約千七百米)ニ前進シアリ第二小隊長黒川少尉ハ  
 午後九時三十分玩礮ノ悪路ヲ冒シテ徒歩ヲ行  
 同本部ニ連絡シクル上永安紡織ニ飯來作業

0051

21~30

頭ハ本夜永安紡織ニ露管スハク區署ス	六、第二第三隊長ハ本夜永安紡織ニ宿管ス	七、本日増負	少尉一兵一計ニ(水島少尉以下君命受領者伊東部隊本部ヲ復級)	八、本日現在負	將校以下ニ四六	馬匹四五	九月三日	小雨	上海東端	一、午前零時及午前三時三十分頃上海東端附近ニ敵襲機ノ空襲アリシモ何等ノ被害ナシ 二、午前九時別紙ノ坂作命第六號ヲ下達ス 三、午前十一時別紙通信網ヲ完成ス 四、本日現在負 將校以下ニ四六、馬匹四五
-------------------	---------------------	--------	-------------------------------	---------	---------	------	------	----	------	---

日本標準規格 B-4

0052

別紙

坂作命 第六号

坂本部隊命令

九月二十日午前九時  
於上海東橋

一 第一小隊長、速ニ伊東部隊本部ト工藤部隊本部  
及師團直接警戒部隊（箕島中隊）間ニ有線通  
信網ヲ構成シ通信連絡ニ任スヘシ

坂本部隊長

坂本少佐

下達法 小隊長ニ口達ス

陸

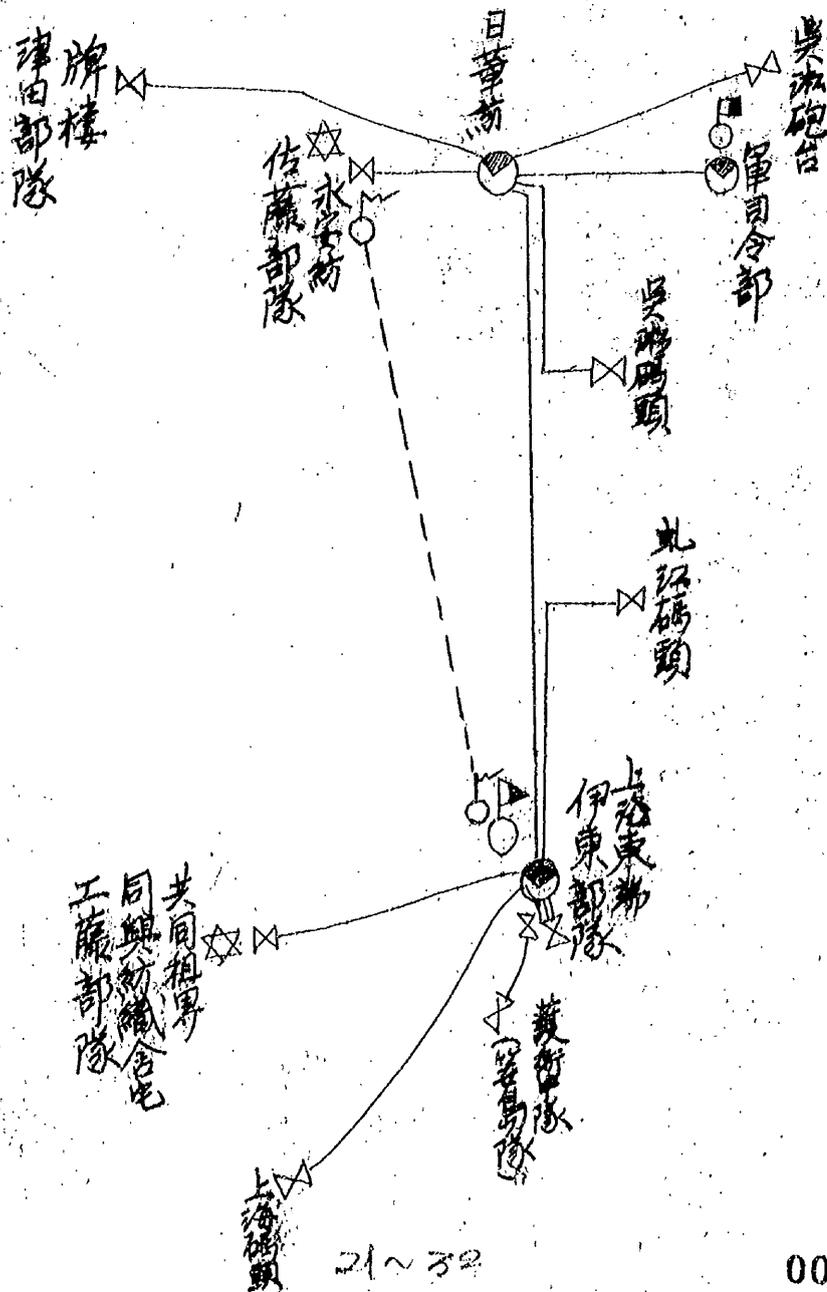
軍

0053

211 31

伊東部隊通信網要圖  
 (於九月二十三日午前十一時)

別紙



21~32

0054



九月五日	雨	上海東端	一師團ハ逐次兵力ヲ吳淞クリク北岸地ニ推進シ爾後ノ 攻撃ヲ準備セトシラアリ 二伊東師作命内第七号ニ基キ左記命令ヲ下達ス 坂作命第七号 坂本部隊命令 九月五日午後三時十分 於上海東端 三第四隊長ハ速ニ在東宅加納部隊本部ト伊東 部隊本部ト間ニ無線通信網ヲ構成シ通信連 絡ニ任ズヘシ 坂本部隊長坂本少佐 下達該口達ス 三本日減算 兵一 計一(若川軍兵平病入院) 四本日現在算 將校以下 二四五 馬 匹 四五
------	---	------	--

陸軍

0055

九月十五日

曇

上海東端

一 百一師作命甲第廿五号及百一師作命丙第九号二基

半左記命令ヲ下達ス

坂作命第八号

坂本部隊命令 九月十五日午 頃云時三十分

一 師團ハ逐次兵力ヲ吳淞クリ、北岸地区ニ推進、南

後、攻撃ヲ準備ス

師團司令部ハ明、十六日永安紡織ニ前進、步兵第

百一旅團ハ本月十五日段後概テ大家宅、大王宅、

銭家湾、全家宅附近ノ地域ニ前進スルヲ答、

二 第三隊長ハ師團司令部ト步兵第百一旅團

司令部及第三師團ハ階ニ有線通信網ヲ構

成シ、通信連絡ニ任ズル

三 第四隊長ハ明、十六日師團司令部、永安紡織

前進、步兵第百一旅團司令部ト步兵第百一旅團司令部

及歩兵第百聯隊本部ノ間ノ無線連絡ニ任ズル  
三第連小隊長ハ明ニ六日師團司令部永安紡織ハ前  
進ノ際上海車端旧師團司令部通信所ノ開鑿ヲ  
署ニ先後部隊ヲ引率シテ永安紡織附近ニ前  
進スル

通信隊長 坂本サ佐

下達法オニテ小隊長ハ電話シ其他ニ口達ス

四本日左記ノ通り臨時通譯配屬セラル

坂本部隊日日本令 九月三日  
於上海車端

一、三好久満吉

右ノ者臨時通譯(雇員)ニ採用セシ之當隊ニ配屬  
給料月額九拾円ヲ給スル

五本日第小隊韜重特務兵木村幸三郎ハ虬江碼頭  
師團司令部間ノ通信網撤収中軍ニ路ニ於テ

0057

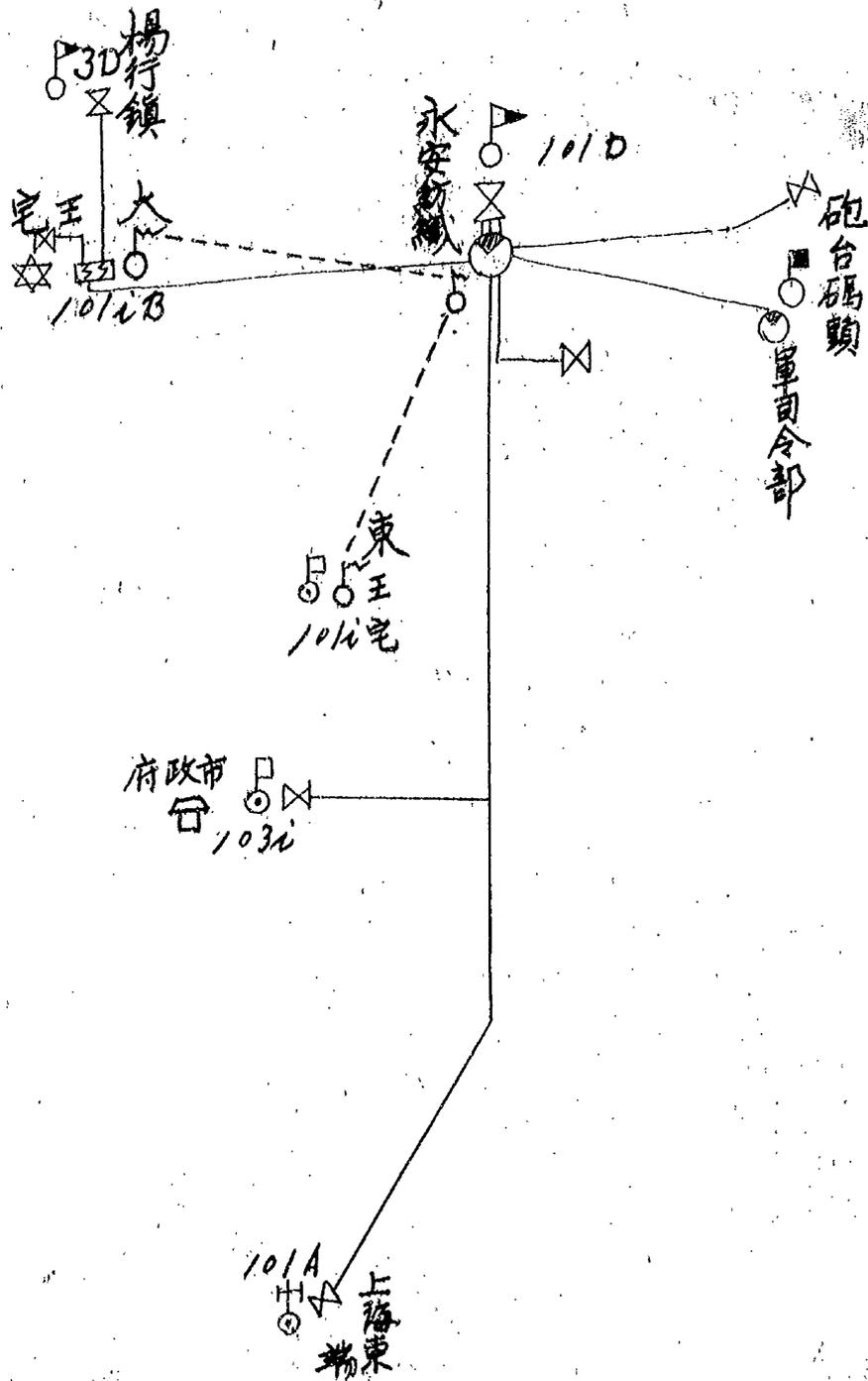


	輓馬狂奔レ之ヲ制御セレトシ顯頭ニ車輪ニ觸レ頭 部及顔面ニ負傷シ入院ス
六本日減負	兵一 計一 (木村特務兵入院)
七本日増員	通譯一
八本日現在負	特校以下三四五
馬 匹 四五	一師団司令部八本目上海東端ヨリ永安紡織ニ前 進ス
九月五日 小雨	二通信隊亦上海東端午前十時出發永安紡織ニ前 進ス
上海東端 ヲ永安紡	三本日日没時ニ於テ通信網別紙ノ如シ
織ニ前進	

日本標準規格 B-1

0058

伊東部隊通信網要圖  
 (於九月二十日)



210-35

0059

別紙

坂作命第九号

坂本部隊命令

九月二十日午後十時  
於永安紡織

一師團司令部ハ明三首 錢家灣ニ前進ス

二通信隊ハ師團司令部ノ前進ニ伴ヒ通信網ヲ変更セリ

三第三隊長ハ錢家灣師團司令部ヲ基點トシ永安紡

織 歩兵第百一旅團司令部 歩兵第百三旅團司令部

及第三師團司令部間ノ有線連結ニ任ズ

四第三隊長ハ永安紡織支澳所ノ肉鎖ヲ區署ニ永安

紡織砲台碼頭間ノ有線網ヲ撤收シタル後 錢家灣ニ

前進ス

五第一隊長ハ上海東端ノ永安紡織間ノ有線網撤收シ

區署ニタル後 錢家灣ニ前進ス

六第四隊長ハ錢家灣師團司令部ノ歩兵第百一旅團

陸軍

0060

292.36

歩兵才百二旅團及歩兵才百二聯隊トノ間ノ無線連絡ニ  
任スル

六山下准尉ハ爾餘久馬車輛ヲ引率シ明三十七日午

八時永安紡織出發吳淞鎮一曹家沙一楊行鎮有

ヲ錢家灣ニ向ヒ前進スル

八予ハ一部ノ有線人員及器材ヲ伴ヒ明廿七日午八時永安

紡織發錢家灣ニ先行ス

通信隊長 坂本抄佐

下達法 口達ス



陸軍

四、明二十七日師團司令部錢家灣三前進三伴フ

通信網構成ニ関シ別紙坂作命第九號ヲ下達ス

五、本日減員

兵一 (篠崎一算兵平病入院)

六、本日現在員

將校以下二四四

馬 匹 四五

九月二十日

一、道路ノ不良 諸隊ノ輻輳及敵銃砲彈ノ妨害等ヲ

小雨

冒シテ午後四時迄ニ概テ通信隊主力ヲ、錢家灣ニ

永安紡織

集結ニシテ毛車輛ノ一部及第一小隊長以下ハ夜ニ入ルモ

ヲ錢家灣

到着セズ

三前進

二、百一師作命甲第十九号ニ基キ別紙坂作命ヲ

号命令ヲ下達ス

三、午後五時ニ於ケル通信網別紙要圖ノ如シ

0062

210 37

<p>四本日現在員</p>	<p>將校以下 二四四</p>	<p>馬 匹 四五</p>	<p>九月三日</p>	<p>小雨</p>	<p>錢家灣</p>							<p>九月廿日</p>	<p>曇</p>
<p>二兩翼隊及右側支隊共攻擊ノ結果若干ノ部落ヲ</p>	<p>占領セルモ戰況大ニ進展ヲ見ス</p>	<p>三本朝在錢家灣馬擊場ニ於テ勤教中豫備騎重</p>	<p>兵特務兵中島請作敵小銃彈ノ爲左胸部擦</p>	<p>過銃創ヲ受ク</p>	<p>三通信網ノ變更ナシ</p>	<p>四本日現在員</p>	<p>將校以下 二四四</p>	<p>馬 匹 四五</p>	<p>一第一線各隊ハ引續キ攻撃セルモ右翼隊ニ於テ東部須</p>	<p>宅ヲ左翼隊ニ於テ全數宅ヲ占領セル外大ニ進展ナシ</p>			

日本標準規格 B-4

0063

別紙

坂作命第十号

坂本部隊命令

九月二十七日午後二時

一 敵情及師團企圖百一師作命甲第十九号、如左

二 通信隊八師團司令部ト兩翼隊、左側支隊、砲兵隊

及予備隊ト、間ニ通信網ヲ構成シ直軍司令部並

第三師團司令部ト連絡ニ任セトス

三 第一小隊八師團司令部ト砲兵隊間ノ有線連絡ニ任ス

四 第二小隊八師團司令部ト右翼隊(歩兵第百旅團)左翼隊

(歩兵第百一旅團)、永安紡織及第三師團司令部ト間

ノ有線連絡ニ任ス

五 第三小隊八師團司令部ト軍司令部、左側支隊及予備隊

ト、間ノ有線連絡ニ任ス

六 第四小隊八師團司令部ト兩翼隊及予備隊間ノ無

陸軍

0064

211 38

線連絡ニ任ズヘシ

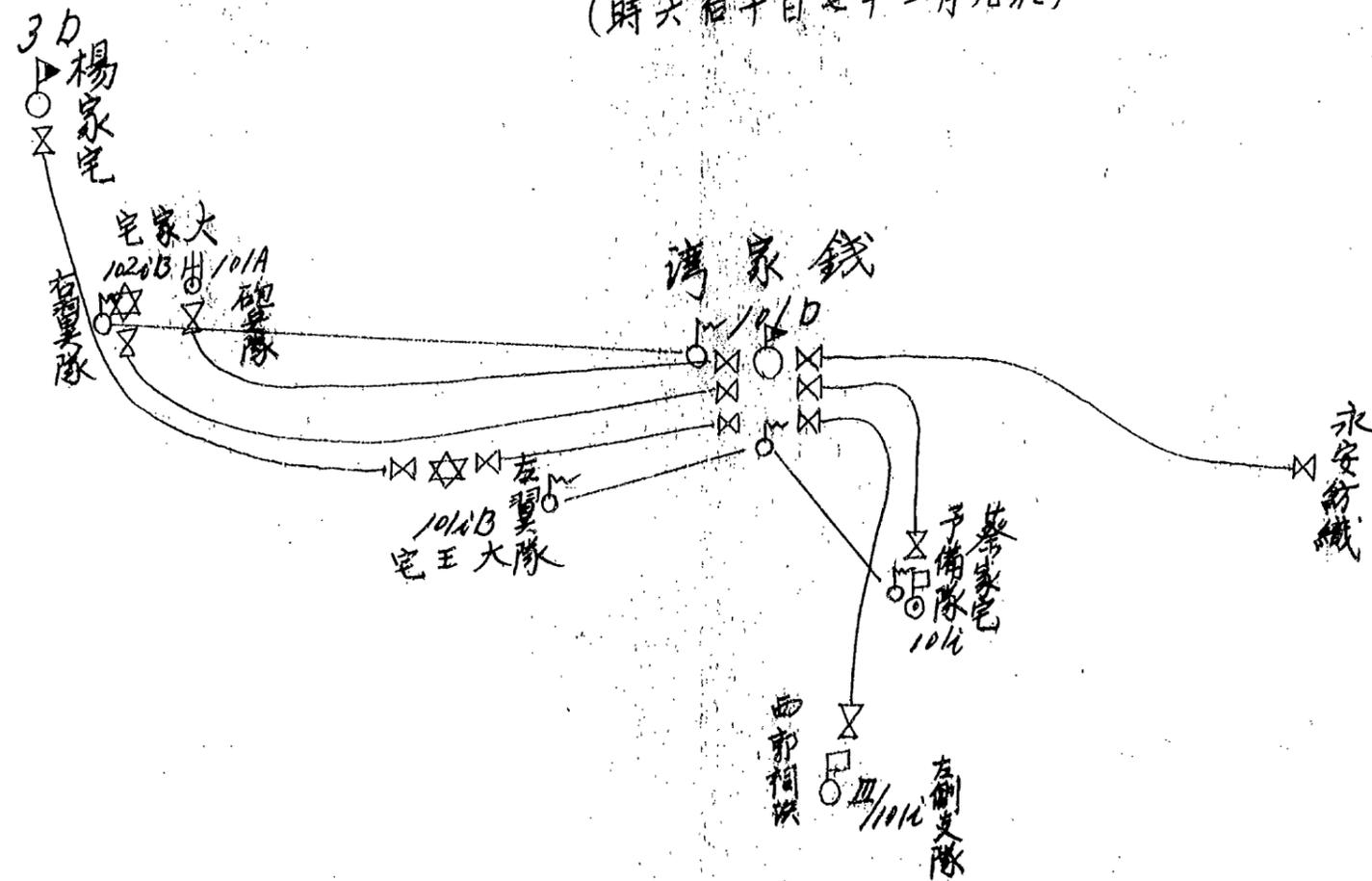
坂本部隊長

坂本サ佐

下達法

ヤニ中隊長ニ電話ニ化ハ口達ス

伊東部隊通信網要圖  
 (於九月二十七日午六時)



212 39

0066

錢家湾

通信網変化也

三百一師作命丙第百五号ニ基キ九記命令ヲ下達ス  
坂作命第十号

坂本部隊命令 九月二十九日午後三時三分

一、第三小隊長ハ一分隊半ヲ在大家宅右翼隊ニ配属  
シ同隊内ノ通信連絡ニ任セシムヘシ

坂本部隊長 坂本少佐

下達法師団意圖ニ基キ前午五時第三小隊長ニ達ス

四前項ノ配属ハ曩ニ通信網変更準備ノタメ右翼隊

本部ニ派遣待機セシメ第三小隊櫻田分隊長以下ハ

右翼隊長ニ於テ自隊内ノ状況ニ應セシムルタメ独断使

用シタル上更ニ半分隊ノ増加配属ヲ師団ニ請求シ来リ

タルヲ以テ師団命令ノ發令ニ至リタルモトスルテ右翼

隊方面ノ状況急ナリシヲ推知シ得ヘシ

0067

210 40



五、本日減員	馬匹一(病馬入班)	六、本日現在員	將校以下 二四四	馬 匹 四四	九月三日	晴	錢家灣
<p>一、師團正面ノ戰況大ニ進展ヲ見ス</p> <p>二、獨立攻城重砲兵第五大隊當師團ノ攻撃ニ協力ス</p> <p>三、ト、ナル</p> <p>三、百一師團作命甲第三号ニ基キ左記命令ヲ下達ス</p> <p>坂作命第十二号</p> <p>坂本部隊命令 九月三日午後九時三十分</p> <p>一、獨立攻城重砲兵第五大隊 八日十月一日師團ノ戰</p> <p>斗ニ協力スルヲ</p> <p>二、第四小隊長 八日十月一日在顏十房揚行鎮西</p>							

日本標準規格 B-4

0068

方約ニ吉米)独立攻城重砲兵第五大隊ト師団司令部  
トノ間ニ無線通信網ヲ構成シ通信連絡ニ任ス(シ

坂本部隊長 坂本サ佐

下達法 口達ス

四、本日午後九時三十分頃師団司令部ト在甚家宅  
左翼隊(加納部隊)本部ト中間ニ於テ敵砲彈ノ  
為メ断線不通トナル伊藤上等兵以下 桜井上等兵  
中野一等兵石井武雄一等兵西海一等兵ノ五名ハ敵銃  
砲彈下リ冒シテ保線ニ出テ暗中約ニ時間ヲ要シ  
テ一致扱力ヨク其目的ヲ達セリ

五、本日減負

軍曹一(高橋軍曹花柳病入院)

六、本日現在負

將校以下 二四三

0069

21041



57

57

0071